

栃医発第1164号
令和元年12月16日

栃木県作業療法士会長
仲 田 和 恵 様

栃木県医師会長
太 田 照 男

令和元年度 地域包括支援センター職員医療的知識向上研修会のご案内

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本会活動に対して特段のご協力をいただき誠に有難うございます。

さて、本会では昨年度に引き続き県からの委託を受け、地域包括支援センター職員及び医師等を対象に、センター職員の医療的知識の習得・向上、地域包括ケアシステムの促進を目的に標記研修会を別紙のとおり開催することといたしました。

なお、今年度は、NPO 法人脳梗塞患者と失語症者の自立支援の会代表理事 沼尾ひろ子先生からご講演をいただいた後、地域毎のグループに分かれ、地域包括ケアシステムに関する課題や問題点などについて参加者間でグループワークを実施する予定です。

つきましては、貴会の多くの職員にご参加いただきたくご高配賜りますようお願い申し上げます。

また、参加者につきましては、別紙により、令和2年1月22日（水）までに、本会地域医療第一課宛（FAX：028-624-5988）にお送りくださいますようお願い申し上げます。

栃木県医師会地域医療第一課 TEL：028-622-2655 FAX：028-624-5988

令和元年度 地域包括支援センター職員医療的知識向上研修会のご案内

1. 目 的

地域包括ケアシステムにおける中核的機関である地域包括支援センターには医療と介護の連携推進の機能が求められており、また、医療と介護の連携を推進するためには、医師も地域包括ケアシステム構築についての理解を深める必要がある。

そこで、医師及び地域包括支援センター職員を対象とした研修会及び意見交換会を開催し、関係者の医療的知識の習得・向上及び地域包括ケアシステム構築についての理解を促進する。

2. 日 時 令和2年2月8日（土） 13時30分～16時

3. 場 所 東武ホテルグランデ 6階「龍田」（栃木県宇都宮市本町 5-12）

4. プログラム

	司会：栃木県医師会常任理事 長 島 徹
(1) 開 会	
(2) 主催者挨拶	栃木県医師会長 太 田 照 男
(3) 講 演	座長：栃木県医師会副会長 前 原 操
	『失語症になった私から 医療の現場で働くみなさんへ 10 のメッセージ -コミュニケーションの実例-』 講師：NPO 法人脳梗塞患者と失語症者の自立支援の会代表理事 沼 尾 ひろ子 先生
	（ 民放アナウンサーを経てフリーアナウンサーとして、TBS「ひるおび！」のナレーション他、文化放送「吉田照美のやる気 MANMAN」等情報生番組を三十数年に渡り担当。ニュース、ドキュメント、バラエティなどのあらゆるジャンルをこなし、生放送に対応ができるナレーターとして活躍。2006 年突然脳梗塞に見舞われ失語症となったが懸命のリハビリの末放送業界に復帰。ご自身の体験をもとに、医療現場のコミュニケーションについての講演等、幅広く活躍中。 ）
(4) グループワーク	※地域毎の多職種グループに分かれて、 事前に用意したテーマについて議論し、その結果を発表する。
(5) 閉 会	

5. 申込締切 令和2年1月22日（水） ※定員 100 名になり次第受付終了。

6. 参加費 無料

7. お申込み・問合せ先 ※本紙に必要事項をご記載の上、FAXにてお申込み願います。

栃木県医師会事務局 地域医療第一課

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1（とちぎ健康の森4階）

TEL：028-622-2655 FAX：028-624-5988

氏名・職種	医師・地域包括支援センター職員 言語聴覚士・理学療法士・作業療法士 行政・その他（ ）
所属施設	
所在地	
連絡先	- -

※申込書で得られた個人情報は、参加者確認・各種データ作成・各種報告等に使用いたします。